

第2回大阪府立東住吉総合高等学校学校協議会 議事録

日時：平成29年9月22日（金）14:00～16:15

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 大会議室

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 授業見学

コミュニケーション英語Ⅰ【外国語英語講師とのティームティーチング】（1年6組）
体育（1年1組）、世界史A（2年3組）、数学Ⅰ（1年3組）

4. 協議

（1）保護者からの意見書の提出状況について

（2）授業改善について

○本校の現状

- ・授業改善プロジェクトチームを中心に、大阪府教育センターによる“パッケージ研修支援”に取り組んでいる。
- ・学校経営推進費（府が指定する教育課題に対し高い効果が見込まれる事業計画を提案する特定の学校に配当される予算）による「TRY ルーム」を創設予定。（ICT機器を使った授業にも活用）
- ・アクティブラーニングに取り組む教員が増えてきている。
- ・ICT機器を活用した授業に取り組む若い教員も多い。

○授業見学を終えて

《授業担当者から》

- ・英語 普段の授業はICTを活用し、できるだけ日本語を介さないで、生の声を聴かせられるよう進めている。
- ・体育 バスケットについても、学習目標と学習評価について伝えたいよう進めている。チームを組んで課題を想定させている。課題克服に向けて、想定させた課題に合わせた特別ルールづくりをしてゲームをさせている。また、学習目標に対して、生徒自身にアンケート等を実施し活動のフィードバックをしている。
- ・世界史 夏休み明けからICT機器を活用した授業に切り替えた。生徒が寝なくなり、音や映像の方が記憶に残りやすいことが分かった。「興味・関心を持てるようになった。」という意見が増加した。
- ・数学 2クラス3展開の習熟度別クラスの1つ。比較的学習能力が高く、日頃から、できるだけ教員に頼らず、自分たちの力で課題解決できるように取り組んでおり、効果が出つつある。

《授業改善プロジェクトから》

- ・今年度の課題は、過去3年間のパッケージ研修を踏まえて、定期考査のない科目や進路実現に直結しない科目において学習に対するモチベーションをどうあげていくかに焦点を当てて改善を進めたいと考えている。
- ・今年度は、「生徒の評価」特に「関心・意欲・態度」の評価の仕方について検討する予定である。
- ・今年度実施するパッケージ研修では、「英会話基礎」で研究授業を行い、評価の仕方等について研究し、生徒の学習に対する意欲を高められるようにしたい。

《委員からの意見》

- ・子どもたちは、大学・専門学校等を卒業しても、その後は毎日がプレゼンの連続となる。人前でしゃべれる能力を身につけることが大事である。
- ・工業系の学校ということもあり、ICT機器を積極的に取り入れている。生徒に学ばせるために役立っている。
- ・自ら考える力を養っていくことは非常に大事。社会人にとって大事なことは、まず自分で考える力である。ぜひ、こういう力をつけさせてやってほしい。

5. その他

次回協議会の日程について